



迎

春



五所川原市議会議長
三 瀧 春 樹

開かれた わかりやすい議会に

あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、希望あふれる輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。年頭にあたり、市議会を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。また、日頃より、市政の発展と議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、近年における少子化、高齢化社会の到来により急速な人口減少や生産年齢人口の減少が進み、特に、地方における人口減少はもはや深刻な社会問題になりつつあります。こうした中、国では「地方創生」の実現に向けて、地方の多様な可能性を再認識し、地域経済の自立と地方の成長活力の創出のため、諸施策を打ち出しております。

今日、地方分権が進み、自治体の役割や責任は大きく、多角化してきております。

このような状況において、市議会は真に市民の皆様の思いをくみあげ、市政運営に反映させると同時に、執行機関の施策を詳細にチェックし精査することが責務であり、皆様の負託に応えることが使命であります。

そのような中、市議会では通常の議会活動に加え、二つの特別委員会を設置し積極的に活動しております。議会だより編集特別委員会では、市議会の運営および活動状況を皆様にお知らせし、市議会に対するご理解と自治意識の向上に資するための活動をしており、これからも皆様にとりまして親しみやすい紙面づくりに心掛けてまいります。

また、議会改革特別委員会では、議会審議の活性化等に向けた活動をしており、代表質問制度、議案に対する各議員の表決の明確化と公表及び昨年の六月定例会からは一般質問において一問一答方式を導入するなど、今後も市民の皆様が開かれたわかりやすい議会になるよう取り組んでまいります。

本年は五所川原市議会にとって、新たな節目の年であります。これまでお寄せいただいたご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、新議会に向けて格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



五所川原市長
平 山 誠 敏

さらなる飛躍と 未来創造に向けて

あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、健やかに輝かしい希望に満ちた新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年の市長選挙においては、各方面からの温かいご理解と力強いご支援を頂き、引き続き3期目の市政を担わせていただくことになりました。新年を迎え、五所川原市の未来創造に向け、引き続き市民福祉の向上に資する各種施策を推進して参りたいと決意を新たにしております。

昨年を振り返れば、米価の下落や消費税率の引き上げなど、地域経済や市民生活に直接的な影響を与える出来事が続き、早急な対策が求められる一方で、当市においては、5年振りに復活した「走れメロスマラソン」大会の開催や地域に密着したコミュニティFM、FMごしよがわら「G. ラジ」の開局をはじめ、さまざまな取組が行われるなど、さらなる市勢発展の始動の年として新たな地域の賑わいが創出されたものと認識しております。また、基幹産業として地域経済を支える農業に対しては、緊急的に、農家の経営所得安定に向けた取組を推進しているところであります。

平成27年は、早いもので新市誕生

から10周年の節目の年を迎え、3月には新市におけるさらなる融和と一体感の醸成を図るため、合併10周年記念式典の開催を予定し、市民憲章等の公表を行うこととしております。市民の皆様とともに新市の記念すべき節目を祝い、さらなる飛躍に向け、気持ちを新たに市政推進に努めて参る所存であります。

また、人口減少・超高齢化という当市が直面する大きな課題に対し、国政におけるまち・ひと・しごと創生に関する政策など、地方回帰に向けた動きを注視しながら、市民が安全・安心して生活を営み、子供を産み育てられる社会環境の形成による地域の好循環を生み出すことに全力を傾けることが求められております。

そのような中で、当市では、平成27年度からの新たな総合計画の策定に向けた取組を進めており、激動の時代にあつて和して同ぜず、自律性や地域特性を保ちながら、市民ニーズに即した重点施策の選択と集中により、魅力あふれる持続可能な地域社会を創生して参る所存でありますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに平成27年が、皆様にとりまして実り多い最良の年となりますことを祈念いたしまして年頭のごあいさつとさせていただきます。